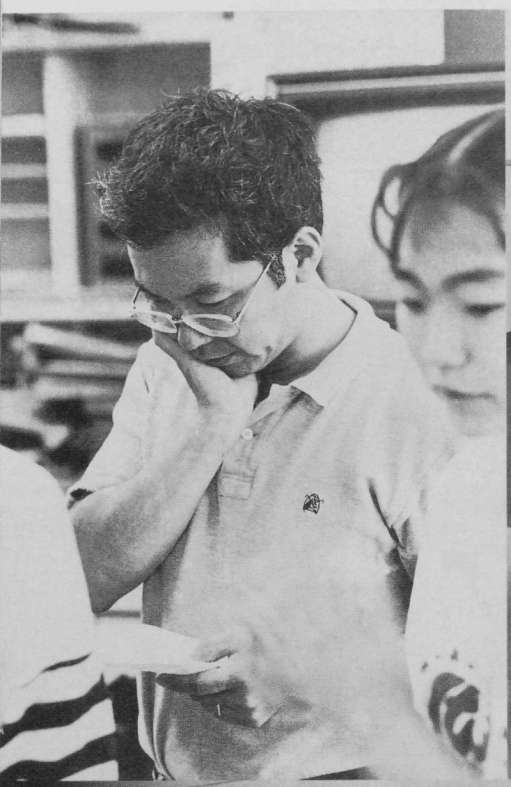
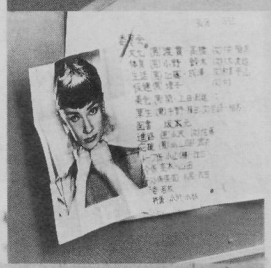
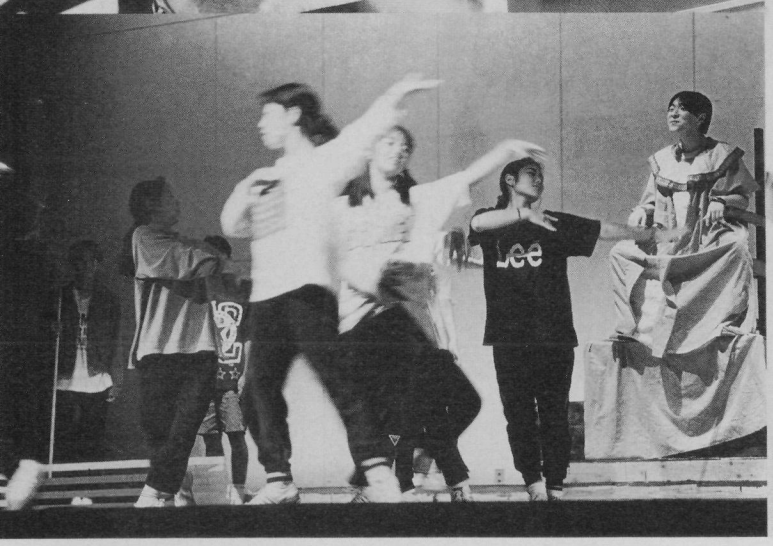
Photo ふなばし







とくしゅう

3度目の高校演劇日本一に輝いた

船橋二和高校演劇部

MOVE I スポーツ&コミュニケーション
海老川ジョギングロード

MOVE II 市内18館目10月23日オープン
海神児童ホーム

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- WE ARE IN FUNABASHI
- アトリエ訪問
- サークル通信

まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー

vol. 57
広報ふなばし写真版

MOVE I

スポーツ&コミュニケーション

海老川ジョギングロード

早朝からジョギングファンが集う海老川ジョギングロード（鷹匠橋付近）

昭和58年10月10日に、船橋市が「スポーツ健康都市宣言」を行ってから10周年。ふなばしっ子たちの活躍で、全国的にもスポーツ健康都市船橋の名前が知られてきました。同時に市民の皆さんが気軽にスポーツに親しめるように、様々な施設の充実も進められています。その一つ海老川ジョギングロードは、昭和60年に富士見橋から北谷津川にかけての往復3.2キロが完成。市立船橋高校の陸上部を初め、朝早くから市民の皆さんのスポーツとコミュニケーションの場として親しまれています。都市型水害の発生源として、長い間市民の皆さんを悩ませた海老川は、台風の直撃による被害もなく、桜とジョギングロードの名所「希望の川」へとイメージを一新しています。

MOVE Ⅱ——

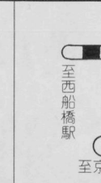
市内18館目10月23日オープン

海神児童ホーム

淡いグリーンの外観とざん新なデザインが目を引く海神児童ホーム。簡易マザーズホーム（3階）と老人憩の家（1階の一部）が併設された複合施設です

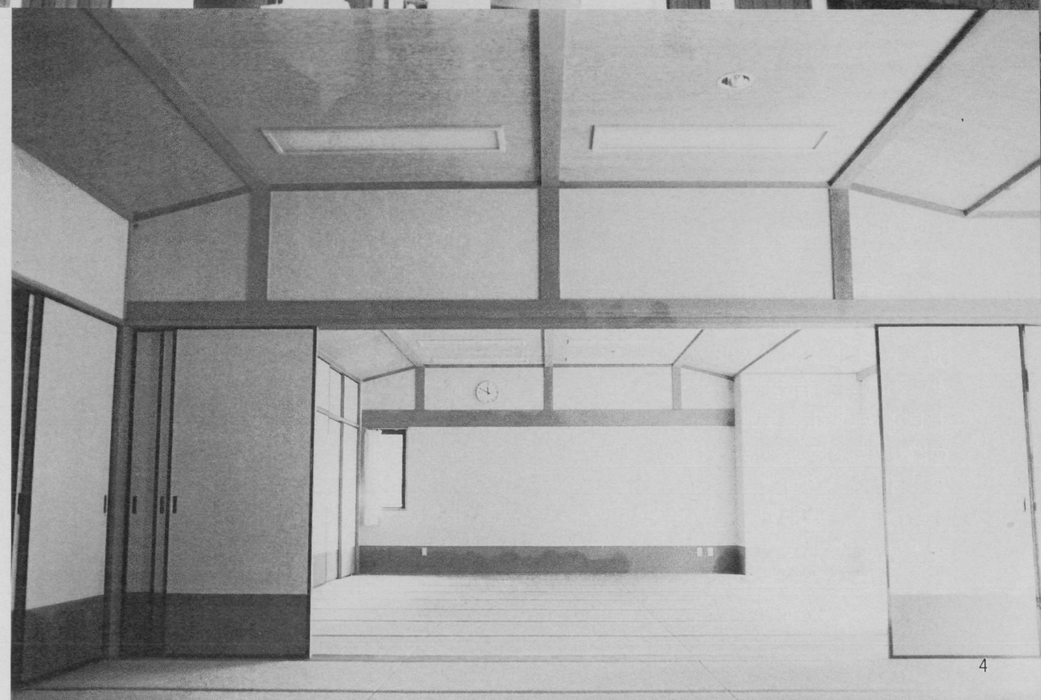
工芸や手芸、料理などに利用できる集会室

平成5年10月23日にオープンの海神児童ホーム。この施設は、中央保健センターから移転する「西簡易マザーズホーム」と、「老人憩の家」が併設される複合施設です。既に市内には17館の児童ホームが建設され、県内に66館ある児童ホーム・児童館の4分の1を船橋市が占めています。また、数だけでなく、設備や児童厚生員による運営も大変充実しています。毎年6月には、市内の全児童ホームを利用する子供たちが一堂に集まって交歓会も開催されますが、海神児童ホームの開館で、友達の輪もさらに大きく広がります。



船橋市海神町2～264～5
☎0474 (32) 4661

ドッジボールやバスケットボール、マット遊びなど色々楽しめる体育室



児童ホームに設けられた多目的室

とくしゅう

3度目の高校演劇日本一に輝いた 船橋二和高校演劇部

第39回全国高等学校演劇大会で最優秀賞に輝いた船橋二和高校の「アニータ・ローベルのじゃがいもかあさん」。中身の濃いステージはプロをもうならせた。写真は8月3日、市民文化ホールで行われた全国大会出場記念公演

歌のけいこは理科室で繰り返し行われた

場面を脚本化するには皆のアイデアが必要。高校生らしくざん新なギャグが次々に飛び出す

音楽やテレビの話をしながら準備が進む

高校演劇の日本一を競う「第三十九回全国高校演劇大会」が8月6日から浦和市で開催され、関東地区代表として参加した県立船橋二和高校演劇部が、みごと最優秀賞の栄冠を獲得した。全国約2500校の中から選ばれた代表11校がこの大会に参加し、この中から選ばれたもので、同演劇部は、昭和61年の「りはーさる・さる」、平成3年の「楢山節考」に続いて、堂々3度目の日本一である。

今回の受賞作品「アニータ・ローベルのじゃがいもかあさん」は、演劇部顧問の土田峰人先生と部員とがいっしょになって絵本から脚本化したもので、この2年間、上演のたびに手直しを加えてきた。いい舞台を作るために妥協は無い。練り直しは、本番直前のメイク中にまで及んだという。

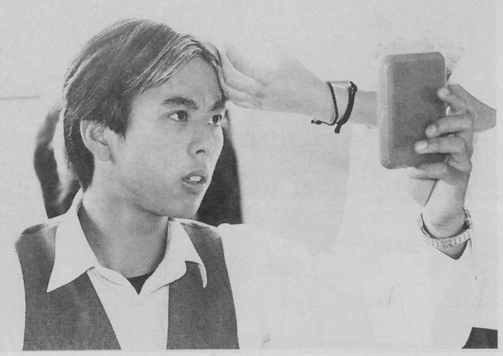
普段の練習は1日4時間。公演が近くなると、休日や夏休みの練習時間は12時間以上になることは普通だ。しかし、ステージで照明を浴び、客席からの称賛を目の前にするとき、すべては喜びに変わる。

「じゃがいもかあさん」の主役を土田先生におたずねすると、「演出も大道具も音響もすべて64人の部員で分担しています。だから、演劇部の主役は全員なんです。」という答え。部員一人ひとりの才能を伸ばしたいという先生の情熱が伝わってきた。

この夏、船橋では船橋二和高校をはじめ大勢の若者がそれぞれの晴れ舞台で輝いた。文化にスポーツにと、大人たちがうらやむほどみんなキラキラしている。そんな彼らに心から拍手を送りたい。

ステージ衣装もすべて手作り

「どんなヒゲがいいかなあ」。メイクも試行錯誤の自己流だ



メイクで老け役、海賊、ねこなどが次々に出来上がる。メイクが進むと気持ちも塗り替えられていくようだ

歌の指導も部員同士で行う

新しい劇「100万回生きたねこ」はスピーディーな舞台が魅力

3時半から始まった練習もそろそろ終わりに近づいた。外はすっかり暮れていた

スポーツの全国大会でも

ふなばしっ子大活躍

高校総体競泳2種目で優勝
薬園台高校黒鳥文絵さん

来年の世界選手権出場を目指す黒鳥さん

8月、全国高等学校総合体育大会が栃木県で開催されました。この大会の競泳で、薬園台高校3年の黒鳥文絵さんは、400㍍個人メドレーと200㍍バタフライの2種目に出場し、共に大会新記録で優勝。特にメドレーでは、日本記録保持者の前原選手（東京）を破っての優勝となりました。高校生最後の大会なので、絶対に勝ちたかったという黒鳥さん、「念願がかなったのでホッとしています。今後の目標は、来年の世界選手権で日本代表になることです。」毎日1時間の筋力トレーニングと2時間半の水中トレーニングで世界を目指しています。

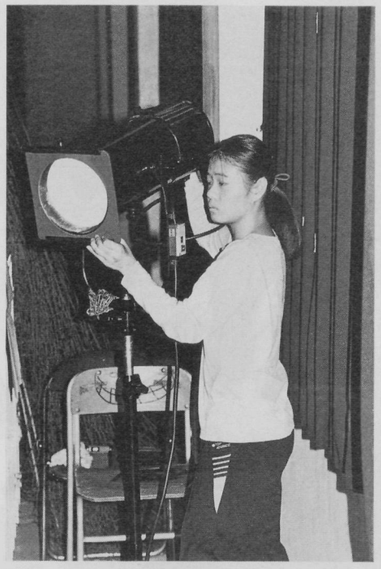
「自分独特の雰囲気が出せる選手になりたいですね」

9月13日、大橋和夫市長を表敬する鈴木喬校長と田原睦子さん

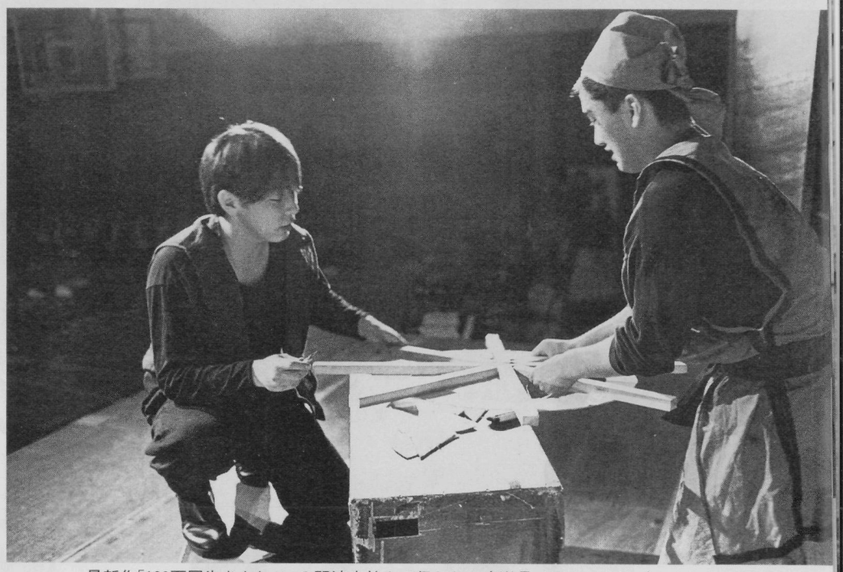
全国中学総体で見事2連覇！
新体操の田原睦子さん（海神中）

8月21日、大阪で行われた全国中学校総合体育大会・新体操の部で、個人総合優勝した田原睦子さんは、海神中学校の3年生。なわ9.30、輪9.20、総合18.50の高得点を挙げ、見事完全優勝2連覇を果たしました。田原さんは、市内の体操クラブで毎日3時間の練習をしています。オリンピック強化指定選手にも選ばれ、目標としている選手は、全日本チャンピオンの川本ゆかり選手。「表現力をもっと豊かにし、日本代表選手として、世界の舞台で活躍したい」と目を輝かせていました。

船橋二和高校の演劇の特徴は歌が多いこと。見せて聞かせるステージが観客の心をつかむ


ライトの熱が暑い照明係。ステージがとてもスピーディーなので役者を追い掛けるのに苦労する

絵本の各場面を班ごとに分けて脚本に直す

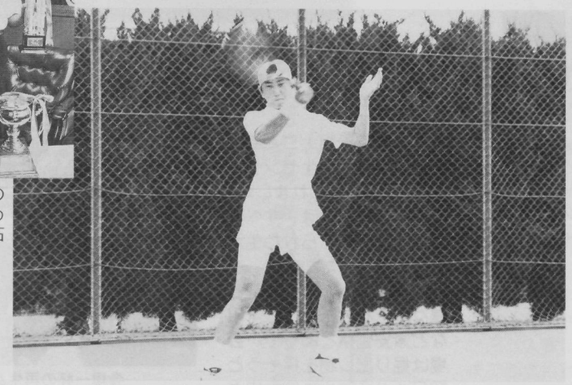

最新作「100万回生きたねこ」の開演直前まで行われた小道具づくり。公演ごとに充実するので、「じゃがいも…」の最終公演では大道具などがトラック2台分にもなったという

「ウチの演劇部は全員が主役なんです」と語る土田先生

全日本クラスのタイトルを初めて手にいれた石神理貴君

中学校硬式テニス日本一
大穴中学校石神理貴君

8月18日から名古屋市で行われた第20回全国中学生選手権男子シングルスで、大穴中学校3年の石神理貴君は、大会中に失ったセット0という完璧な勝ち上がりで、この大会の初優勝を飾りました。全日本クラスの大会で初めて優勝したという石神君は、「自分の勝ちパターンであるサーブアンドボレーで勝てたのでとてもうれしいです。ここまで来たからにはプロを目指します。」と決意を聞かせてくれました。なお、理貴君のお兄さんは夏の甲子園で活躍した市船野球部主将の石神康太君です。


得意のサーブ・アンド・ボレーが決まり、この大会で失ったセット0という無敵の強さが光った

墓地の隅に並ぶ如意輪石仏

まちなかの文化財
正法寺
（田喜野井3）

三山と田喜野井の両地区を括って呼ぶとき最近では「三田地区」といっている。三田中学校、三田公民館の名前も見られる。

このあたり新興住宅地で新しい家並みが続くが、一つ幹線道路から入ると生活道がくねくね入り組んでいて、三田中前の子（ね）神社も正法寺も探し当てるのに一苦労する。

それにしても正法寺は昔とはすっかり面目一新した。境内駐車場から仰ぐ真新しい本堂の大屋根は船橋でもトップクラス、傍らの銀杏の古樹と秋空にその高さを競い合っている。

参道のずっと突当りには青年僧、若き日の大師様のブロンズ像が望めるが、まず目を引くのは東面して立つ、参道から見ると横向きに立っている大きな平和観音だろう。田喜野井戦没者遺族会ら関係者が建立したものである。その後ろに並び立つのは地元の加藤家の層塔のようだ。

整理された墓地の一隅に小屋が見え、如意輪石仏が数えて七体、その中にきちんと並んでいる。すべて「十九夜講」のもの、従って女人講と刻み、又は善女の文字も読める。享保、宝暦、寛政、さらに万延、新しく大正十四年まで知られる。中に珍しい立像のもの、稚拙の造像もここでは微笑ましい。

（文・大木　勲）

参道から望む正法寺

夏の甲子園ベスト4進出を報告に市役所を訪れた市船野球部の皆さん

市立船橋高校野球部・女子バレーボール部
夏の甲子園と高校総体でベスト4

8月8日甲子園球場で開幕した第75回全国高校野球選手権大会に、春・夏連続出場を果たした市立船橋高校。夏の大会初出場ながら見事ベスト4、公立の高校としては、全国の頂点に立ちました。

また、8月4日から6日まで栃木県佐野市で行われた全国高校総体に出場した女子バレーボール部。準々決勝で、春高バレーを制した八王子実践に勝ちベスト4に進出。準決勝では、今大会で優勝した国学院栃木にフルセットの末惜しくも敗れました。「課題は精神面だけ。10月の香川国体では優勝を目指します。」と、国澤キャプテンが力強く語ってくれました。

監督・コーチ・選手が一丸となって頑張っています

市政トピックス

応急手当を身につけよう
救急フェア開催

3分間の応急処置が救急患者の命を救います

救急フェアに華を添えた船橋学園バトン部の皆さん

9月5日、JA西船橋Aコープ行田店駐車場で、救急フェアが開催されました。救急患者に対する応急処置を覚えてもらおうと行われたこの催し。会場に集まった皆さんは、心肺蘇生法などに真剣に取り組んでいました。

平成5年度京葉広域行政連絡協議会で
沼田県知事が東葉高速鉄道を視察

沼田知事に工事の進ちょく状況を説明する大橋和夫市長(右)

船橋、市川、浦安の3市で構成する京葉広域行政連絡協議会が9月2日市川市で行われ、これに先立ち、沼田県知事らが東葉高速鉄道東海神駅の建設現場を視察しました。大橋和夫市長は知事と共に地下駅に降り、プラットホームなどを視察。一刻も早い開通を目指して、より一層の協力を求めました。

市内10本目の鉄道となる東葉高速は西船橋駅から勝田台駅までの16.1キロを結ぶもので、都心への新しい足として大きな期待が寄せられています。

総勢9,000人が参加
市内4か所で総合防災訓練

消火器を使った初期消火訓練(メーン会場)

9月1日「防災の日」に、旧法田中学校跡地をメーン会場に市内3会場で、大地震の発生を想定した総合防災訓練が行われました。各会場では、地域の皆さんや関係機関が参加して、避難訓練や初期消火訓練、応急救護訓練などが行われました。また、8月29日には海浜公園で津波訓練も行われ、不意に襲ってくる災害に対して、普段からの備えや心構えの大切さを市民の皆さんにアピールしました。

三角バケツによる初期消火訓練(芝山会場)

大人気!粗大ゴミのリサイクル
再生品販売会

9月11日、粗大ゴミの再生品販売会が再生センター(馬込町)で行われました。販売された品物は、すべてゴミとして捨てられた生活用品を修理したもので、タンスやベット、自転車など様々。どれも千円・2千円など激安価格とあって、会場は掘り出し物を探そうと朝早くから詰め掛けた皆さんでにぎわっていました。

会場一杯の再生品は飛ぶように売れてしまいました

市民ひとことインタビュー

テーマ　あなたの好きな歌は?

ドリカムの晴れたらいいねは子供と一緒に良く聞いています。
村越恵子さん(新高根3)
恵利ちゃん(1歳9か月)

演歌一筋で歌います。吉幾三の酔歌なんていいですね。
木村三郎さん(南三咲3)

スマップやドリカムを良く歌います。
川嶋幸子さん(市場1)
小夏ちゃん(3歳)

やっぱり演歌。美空ひばりさんの柔がいいですね。
藤代和男さん(高根町)

由紀さおりさんと安田祥子さんの歌う童謡が好きです。
鈴木みどりさん(右)(東船橋3)
森重悦子さん(左)(　　)

あなたもできるダイヤモンドの3分間
救急医療シンポジウム

熱演した宮本中学校演劇部と消防局救急隊・医師の皆さん

9月25日、市民文化ホールで「市民とともに考える救急医療シンポジウム'93」が開催されました。心肺蘇生法を実践した方の体験談や宮本中学校演劇部の皆さんによる救急活動劇などを通して、救急患者を救うために、救急車が到着するまでの約3分間に行う応急処置が、いかに重要であるかを強く訴えました。また、心肺蘇生法の体験学習コーナーが設けられ、会場に詰め掛けた皆さんも真剣に取り組んでいました。

心肺蘇生法普及功労表彰を受ける市内10団体の皆さん

体験談などを語るシンポジストの皆さん

駐車モラルの向上を願って
めいわく駐車追放標語決定!

小・中学生の部で入賞した皆さん

今年の春に募集していた「めいわく駐車追放標語」が決まりました。これは、駐車モラルの向上を図るため、昨年のシンボルマークに続いて行われたもので、一般の部と小・中学生の部で合計566点の応募がありました。審査の結果、最優秀賞に決定した標語は、めいわく駐車追放用のPRポスターやパンフレットなどに活用されます。

最優秀賞

一般の部　山田一子さん(本町6)
駐車違反　やめる勇気と　心掛け

小・中の部　会田　薫さん(船橋小6年)
こわいなぁ　車がじゃまで　カニ歩き

日本一の演奏を披露
小栗原小学校合奏クラブ

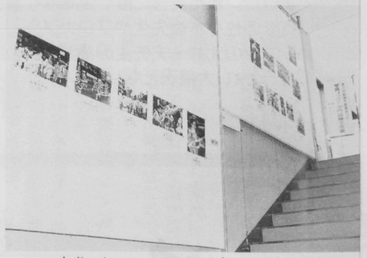
サントリーホール

大人顔負けの演奏を被露した合奏クラブの皆さん

平成4年度TBSこども音楽コンクールで、5年ぶり5回目の最優秀校に輝いた小栗原小学校合奏クラブの皆さんが、8月23日、サントリーホールで開催されたジュニアオーケストラコンサートに参加、カバレフスキーの組曲「道化師」他3曲を披露し、詰め掛けた皆さんを魅了していました。

カメラ愛好家の力作22点を展示
産業まつり写真コンクール

7・8月に開催された第26回船橋市産業まつりを題材にした写真コンクールが行われ、写真愛好家の皆さんから75点の応募がありました。この中から市長賞(鎌ケ谷市の川村進さん)をはじめ、22点の作品が入賞し、9月15日から27日まで西武百貨店のステップギャラリーに展示されました。



力作が並んだステップギャラリー

ふなばし海浜公園 ☎35-0828(休園日:月・祝日の翌日)

記念品として竹馬やテレホンカードなどが贈られました

入場者10万人を達成
温水プール

9月11日、温水プールの入場者数が10万人を突破しました。記念すべき10万人目になったのは、本郷町にお住まいの伊津田由美さん、愛ちゃん、裕くんのご一家。「驚きました。とてもうれしいです」と伊津田さん。記念品が贈られて子供たちも大喜びでした。

流水プールを利用して
パターゴルフ・つり堀

夏の間、皆さんにご利用いただいた流水プールを使って、パターゴルフとつり堀をオープンしました。パターゴルフの「はまなすコース」(全長88㍍、9ホール、パー36)は、1周350円。つり堀は500円(用具・えさ代込み)。子供からお年寄りまで楽しめます。

チビッ子太公望も腕比べ

ナイスパットが続出

船橋警察署をはじめ関係者の皆さんが交通安全を訴えました

一日署長田村英里子さんも交通安全を訴えました

秋の交通安全キャンペーン実施

9月17日、船橋駅北口おまつり広場で、船橋警察署管内の交通安全キャンペーンが行われました。大橋和夫船橋市長やミスふなばしなど参加した多くの皆さんが、交通事故"0(ゼロ)"の願いを込めて秋の味覚「梨」を配りました。

また、9月26日には、新京成線北習志野駅前通りで、船橋東警察署管内のキャンペーンも行われました。この日、一日警察署長の委嘱を受けた歌手の田村英里子さんもパレードなどに参加し、交通事故防止を呼びかけました。

リサイクルの子供神輿が登場

緑台町会夏祭り

手作りのお神輿に子供たちも大喜び。暑いなか元気一杯に担ぎました

法被姿がかわいい子供たち

8月21・22日、緑台町会の夏祭りが緑台中央公園で開催されました。今回の目玉は、婦人部の皆さんが牛乳パックやあき缶を利用して作った手作りお神輿。お披露目が終わると、集まった子供たちが担いで、大人神輿と一緒に団地内を一周。ワッショイ！ワッショイ！と元気な掛け声で練り歩きました。

昭和初期の街並みを後世に

船橋町鳥瞰図(ちょうかんず)設置委員会が設立

縦180センチ、横255センチ、100年の歳月に耐えられる鳥瞰図を作ります

昭和初期に描かれた船橋の鳥瞰図を設置し、当時の様子を後世に伝えようと、大橋市長を初め市民の有志40人の皆さんにより「船橋町鳥瞰図設置委員会」が設立されました。この鳥瞰図は、当時の町民221人の依頼で画家の松井天山氏が制作。東京湾に広がる街の様子が克明に記されています。これを銅板（耐用年数100年）に刻んで、ＪＲ船橋駅南口に設置しようということで、広く協賛者を募っています。詳しくは事務局長の中沢卓実さんまで。☎34―2222

10周年を迎えた船橋市写真連盟

ふなばし写真の祭典を開催

毎年たくさんの写真ファンでにぎわう連盟写真展

8月20日から24日まで、船橋市写真連盟の会員による「ふなばし写真の祭典」が、東武百貨店船橋店で行われました。創立10周年を迎えた今回、会場には旅先でとらえたスナップ写真やポートレート、風景写真など感性豊かな作品約100点が飾られました。また22日には、生物写真家の佐々木崑先生やプロカメラマンの北井一夫先生の講演会も行われ、大盛況となりました。

市内カラオケ同好会が

チャリティーカラオケ大会

千葉県出身のプロ歌手も友情出演

9月19日、英カラオケ同好会（松が丘）が主催して、チャリティーカラオケ大会を開催。約70人のカラオケ愛好家が賛同し、見事な歌唱力を競いました。集まった募金は翌日船橋市に寄付されました。

市内13会場に3000人が参加

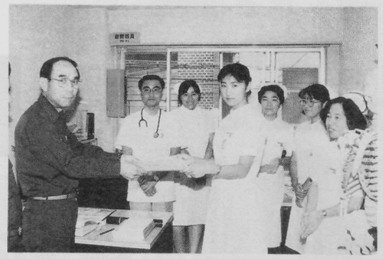
千葉土建船橋支部 住宅デー

子ども工作教室

8月22日、地域の皆さんへの奉仕活動として行われたこの催し。無料の包丁研ぎやまな板削り、住宅相談、子ども工作教室のコーナーに多くの皆さんが集まりました。また、参加者から福祉募金も寄せられ、船橋市に寄付されました。

市内の病院に勤める看護婦さん

救急現場で大活躍



北消防署長から感謝状を受ける尾崎さん

7月29日、八木が谷2丁目の尾崎礼子さん（板倉病院勤務）は、自宅近くで発生した救急事故（妊婦の急速分娩）現場で、看護婦の経験を生かして、妊婦さんを励ましたり、生まれた赤ちゃんの管理をしたりと、救急活動に協力をしました。この功績に対して市消防局長から感謝状が贈られました。

ふなばしの民話

化かし損ねた 出戸(でど)の長六狐(ちょうろくぎつね)

文・村上昭三

かつて有名無名の古狐がたくさん住んでいた出戸の崖

むかし、印内村の大六天様の東側の出戸の崖に、長六という困ったいたずら狐が棲んでいました。

ある時、印内村の忠右衛門どんのお爺（じじ）が、生家でもある行田新田の金右衛門どんの家の婚礼に招待されて行きました。祝いの酒盛りは延々と続き、お開きは真夜中になりました。

ここで、お爺も立ち上り、ご馳走が沢山入った折詰をぶら下げ、家路に着きました。そして、行田新田の南側に当る鎌が谷津台にある卵塔場（墓場）の傍らを通りかかりました。すると、お爺の周りを、何やらうろちょろと付きまとうものがありました。気丈なお爺はかなり千鳥足でしたが、それにすぐ気が付きました。

そこで、お爺は辺りを見回しながら

「やい、長六狐の奴め、案の定、出やがったな。俺を化かして、この折詰を取れるものなら取ってみい。一つ、勝負をしてみろ」

と怒鳴りながら、その場にどっかりと腰を下しました。

それから、折詰を脇の上に置き、腰から煙草入れを取り、煙管（きせる）を出し、深々と煙草を吸い始めました。そして、長六狐に向い、わざと煙を大きく吐きかけました。更に、吸い切らない火の気の残った吸殻を片方の手の平に取り、それをころころと転がしながら次の火種に使いました。

それが終ると、今度は

「ほーれ、お前の大好きなものをやるべえ」

と言って、その吸い殻を長六狐の体を目がけて投げ付けました。この仕草を何拾回となく繰り返しました。

長六狐は、火の気と煙草の煙に弱く、全く足を出せませんでした。そのため、お爺に近寄ることが出来なく、少し離れた所で、目を怒らせながら、ただ

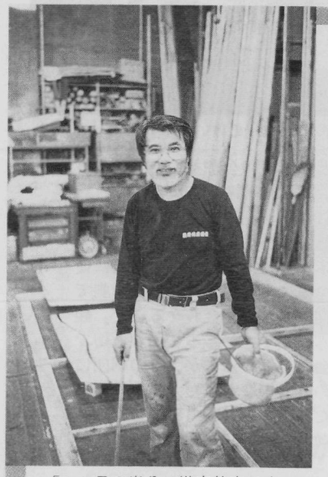
「うー、うー」

と唸っていました。

その内、夜が白々と明け、お爺を化かし損ねた長六狐は、とうとう折詰をあきらめ、出戸の寝座（ねぐら）に、それはすごすごと帰って行ったということです。

歌舞伎座絵師・日本画家

井上　隆さん（古作3）



「1か月の半分は徹夜仕事です」と語る井上さん

銀座の晴海通りを有楽町から築地に向かい、昭和通りとの交差点を過ぎると、左手に色とりどりの幟がはためく白い和風の建物が見えてくる。

日本文化の殿堂、歌舞伎座。ここが井上さんの仕事場である。

日本画家で船橋市美術連盟会員である井上さんは、歌舞伎の背景画を25年も描き続けている絵師でもある。

時刻は午後9時を少し回っている。歌舞伎座の右側に面した通り沿いに昔ながらの木戸がある。その裏木戸から中に入ると、左側にのれんの掛かった事務室があり、右側の流し台では黒いTシャツ姿の若者が刷毛を洗っていた。中から出てきた女性に声を掛け、取り次ぎをお願いすると、先程の若者と同じTシャツを着た井上さんがにこやかに「お待ちしていました」と迎えてくれた。

井上さんの案内で、画室と呼ばれる舞台裏手の作業場を抜けると、突然、目の前に明るく照らされた舞台が白く浮かび上がり、その向こう側に真っ暗な客席が見えた。

舞台は思いのほか奥行きがあって広い。普段客席から見ているのは半分位だったことを初めて知った。

舞台は20分程前にはねたばかりだが大道具類はすっかり片付けられ、替わりに舞台一面に木綿製の巨大なカンバスが広げられていた。これから明日の舞台の幕開きまで、徹夜の作業が続けられる。

2本の刷毛を巧みに使い分け、微妙な色合いに仕上げていく

背景画の道具帳を片手に、竹ざおの先に取り付けたチョークや長い棒刷毛を使って、井上さんは巧みにデッサンを描き上げていく。小さな道具帳の絵をもとに、50倍もの大きさに拡大して描くデッサンは、ちょっとした違いで大きくイメージを変えてしまうという。

井上さんの下絵ができあがると、スタッフが一斉に色を付けていく。「塗料は濡れていると濃く見えますが、乾いてくると白っぽくなるんです。出来上がりがどんな色になるのかを想像しながら色を作りますが、経験と勘が頼りなんです。」

見事な手さばきで、みるみるうちに上下十五尺、幅十六間のカンバスが彩られていく。

「同じ演じ物が演じられても、劇場によって背景画の表現は違います。歌舞伎座の絵は昔から伝えられている歌舞伎座の描き方があるんですよ。」

役者とは異なり、世襲ではない絵師の世界だが、井上さんは、祖父・父と代々この仕事に携わっていて、当然のようにこの道に入ったという。

「あとは後継者を募って育てることが必要なんですが、なかなか難しくて困っています。」

役者が注文する微妙なニュアンスを感じ取り、役者を生かす色合いに仕上げられるようになるには相当な年季がいる。

歌舞伎座の伝統を支える者の誇りと愛情がこちらまで伝わってきた。

サークル通信

みんなの広場

紙粘土の会
東部公民館

実習室の中は明るい笑顔と笑い声がいっぱい。「気軽な雰囲気で、楽しみながらやっています」と皆さん。月2回の木曜日に集まって、ワイワイ言いながら人形やアクセサリー、壁掛けなどの色々な作品を作ります。紙粘土と言っても伸びのあるものや、固まると樹脂のように丈夫になるものがあって、作品やその部分によって使い分けます。固まってから、絵の具で色を付けラッカーで仕上げます。難しいのは作品に表情を持たせること。作品が完成したときの喜びは格別ですよ。あなたも仲間に入りませんか。

（連絡先：高橋文子　☎72―5669）

気軽に参加してください

作品はなかなか手放せません

試合向けの練習をしています

お互いに切瑳琢磨しています

みんなで相談しながら舞台を作ります

今は「魔女っ子トロンチ」のけいこ中です

西部公民館
人形劇団「ぐるーぷあ」

中央公民館で行われた講習会がきっかけで発足した人形劇団です。15年目を迎え、現在の会員数は7人。毎週木曜日に行われる練習の成果は、地域の子供会や幼児教室、公民館の文化祭などで発表しています。絵本を題材にした台本も、劇に使う人形もメンバー全員による手作り。「人形劇で難しいのは、人形同志の目線を合わせること。観客との受け答えで雰囲気を感じとることも大切ですね。」と皆さん。会員のほとんどが、この劇団に入るまで、人形劇の経験のなかった人ばかり。あなたも一緒に子供たちに夢を与えてみませんか。

（連絡先：坂本妙子　☎0473―33―8460）

丸山公民館
カモメ卓球クラブ

講堂に入るとリズミカルに球を打つ音が聞こえてきます。この卓球クラブは、公民館の講習会をきっかけに8年前に発足しました。現在会員は13人。毎週木曜日に練習しています。いつも多球練習や3球目攻撃など、実践向けのメニューをこなしています。最近は全体にレベルアップしてきたので、地区大会で優勝したこともあります。「勝ったときはとてもうれしくて、このクラブも勝つことを目的にみんなで頑張っています。そのためには、やはり普段の練習が大事ですね。」

一見易しそうに見えますが、とても奥深くて難しい卓球。会員の皆さんの光る汗がとても印象的でした。

（連絡先：今泉かほる　☎30―1293）

ペットインタビュー

ご主人に紙を丸めて投げてもらうのが好きなんです

なまえ
ミュー
（日本猫）

オーナー
菱田典子さん
（新高根5）

私の名前はミュー。ご主人の娘さんの歩ちゃんがつけてくれたの。ラテン語だって。とても気に入っています。そうそう、私の他に、姫とその子供の花子と太郎子の3人もお世話になってるの。とても仲がいいのよ私たち。みんな女性だから家の中はいつも明るく、笑顔が絶えません。私の好物は、カニ缶とホタテの缶詰。ご主人はいつでも買いに行けるように、車の運転免許を取ってくれたの。ここまでしてくれる人ってそういないわよね。ところでもう秋。秋と言えばもちろんスポーツね。私たちも毎日家の中で大運動会をしています。つい夢中になって夜中までなんてことも。ご主人たち寝不足みたい。少し自粛しなくちゃ。去年姫が大病してご主人を心配させたので、健康に注意していつまでも長生きしようって、みんなで約束しました。

3色以内でシンプルな着こなしを心掛けています

鈴木恵子さん（金杉4）

初秋のさわやかな風に長い髪をなびかせ、ベージュのパンツスーツにスッキリと身を包んで登場してくれたのは、都内の銀行にお勤めの鈴木恵子さん。靴は黒のローヒールで、つま先にゴールドのメッシュ。アクセサリーのペンダントやピアスもゴールド。「洋服は3色以内でシンプルに着こなすようにしています」と鈴木さん。買い物は、市内のViViやシャポーで。休日は少しラフなカジュアル姿が多いとか。趣味はスキーとテニスというスポーツレディー。将来は、花嫁修行で身に付けた華道と仕事で覚えた手話を生かして、聴覚に障害を持つ皆さんと一緒に華道を楽しみたいと語ってくれました。

切ったり張ったり、手先を使うことが好きです

ART
切り絵

中村頼子さん（本町6）

「小さいころから絵を習って、中学から大学まで女子美に通いました」と言う中村さん。女子美術大学では洋画を専攻していたそうです。東京都美術館に第1回日本切り絵美術展を見に入ったのがきっかけで、自己流で切り絵を始めました。「もともとイラスト指向があったのかもしれませんね。」大学卒業後、いったん就職したものの、趣味で続けていた切り絵を仕事にすることになり、そろそろ10年。主に児童学習雑誌などの挿絵を制作しています。仕事はこの部屋と都内の事務所で。電車に乗って気分転換するとか。「手先を使うことが好きですね。でも、手芸とかではなく、切ったり張ったりの方ですよ。ガラス工芸にも興味がありますね」日本切り絵美術展にも毎回出展、これからは、絵本の仕事もやってみたいと意欲を見せてくれました。

日本で学んだ知識をまちづくりに生かしたいですね

ゴンザレス・アデギィさん（栄町2）

「昨年の冬初めて雪を見た時にはとても感動しました。」ゴンザレスさんはフィリピンのご出身で、昨年の6月に来日。浦安市内の会社で技師として市役所を訪れた市民の皆さんに、ピアノや管弦楽などの演奏を身近に親しんでいただいています。一度足を運んでみてはいかがですか。また、来年1月からの演奏者を募集しています。練習の成果をこのミニコンサートで発表してみませんか。ご希望の方は市教育委員会文化課（☎36―2894）までお問い合わせください。

華麗な演奏を披露する橘真奈美さん

あとがき

◇市役所1階のロビーに、グランドピアノが置いてあるのをご存じですか。市役所では、毎月第3水曜日の午後0時15分から40分間、ロビーコンサートを開催しています。お昼のひととき、

お店

大勝軒（だいしょうけん）

西習志野3―27―12
☎0474(63)9136

新京成北習志野駅を西側に降りて徒歩一分。中華そばの大勝軒は、味とボリュームのお店です。五百二十円のラーメンを注文して待つこと数分。出てきたどんぶりを見てびっくり、大きな器に麺がなみなみと入っています。ここのラーメンは、並でもそば玉が二つ入っているのです。

そして、スープはしょう油味。ブタガラ、タマネギ、ジャガイモ、削り節、ニボシ等をじっくり煮込んだもので、ややコッテリタイプ。だから、スープが冷めず、なかなか減らないラーメンを最後までおいしく食べることができます。

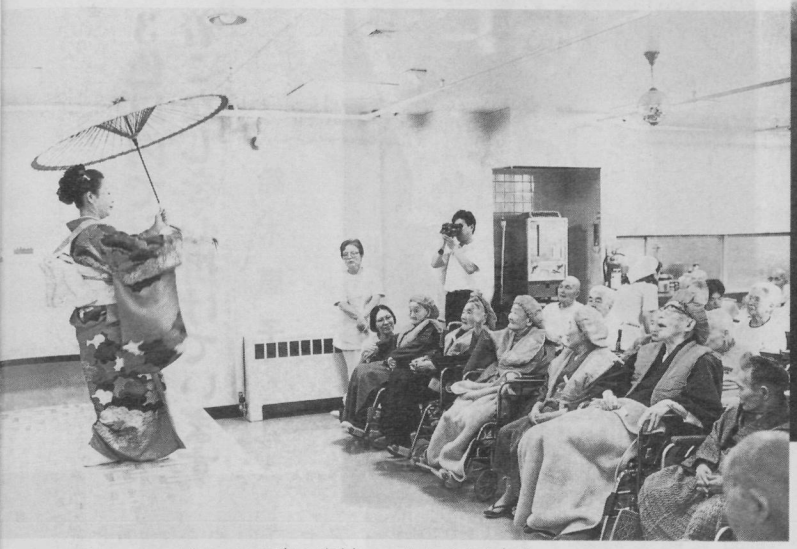
ご主人の伊藤健二さんは、「麺は消化がいいので、女性の方にも人気なんですよ。高校生の四人に一人は大盛り（三玉入り）をたいらげます。これからも、お客様に満足していただけるよう頑張ります。」とラーメンにかける情熱を語ってくれました。

食欲の秋、体重が気になるけどお腹いっぱい食べたい、というあなたにぴったりのお店です。

船橋の森や川などに生息する様々な生物がパネルで展示されました

丸山サンクチュアリが
船橋の自然展を開催

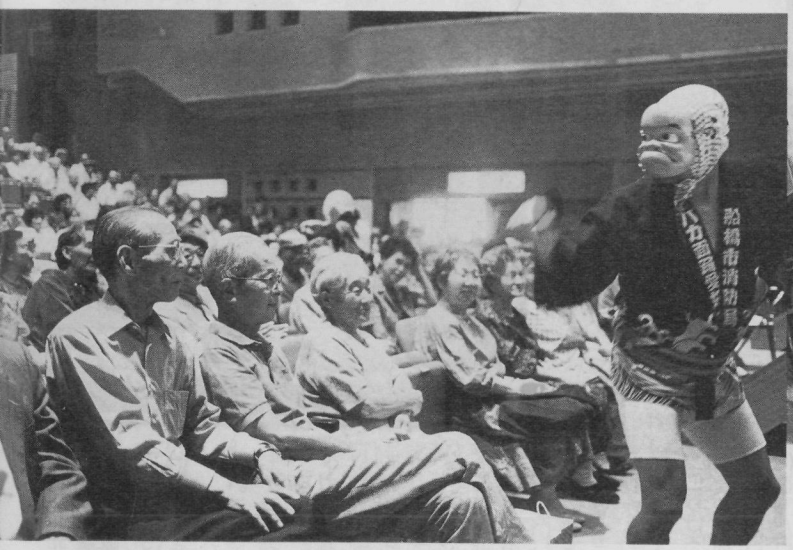
9月17日から19日まで市民ギャラリーで、船橋の自然展が開催されました。丸山サンクチュアリの皆さんによるこの催し、会場には船橋の森や川などに住む、野鳥や魚などがパネル展示で紹介され、自然の尊さを訴えていました。



三山園では97歳の米村マスさんら100人の
皆さんが敬老の日を迎えました

市内最高齢者は102歳の遠藤トメさんと栗山ハナさん
写真は船橋梨香園で生活している栗山さん

9/15敬老の日
市内各地で敬老行事を開催



北部連合自治会敬老会が行われた二和公民館では、
消防局ばか面踊り愛好会の踊りが披露されました

今年100歳を迎える金子さきさん宅を訪問した大橋和夫市長。「体に気を付けていつまでも長生きしてください。」と金子さんの長寿を祝いました

9月15日は敬老の日。市内の65歳以上の方は、平成5年4月1日現在で44,013人いらっしゃいます。約460の町会・自治会や老人ホームでは、様々に趣向を凝らした敬老会が行われました。それぞれの会場に詰めかけた皆さんは、お祝いの言葉や記念品をいただいたあと、余興の日本舞踊や三味線の演奏などを楽しみました。

また、数え年で100歳以上の方は、市内に26人、うち女性が22人いらっしゃいます。今年100歳を迎える金子さきさん（本中山2）のお宅を、大橋市長が訪問し、記念品と色紙を贈って、長寿をお祝いしました。

スポーツで健康ふなばし
こんにちは…

宮本公民館で盛大に行われた
宮本四和自治会の敬老会